

ミャンマー国人身取引被害者自立支援のための能力向上プロジェクト

No3/ 2012 年 9 月 21 日

ヤンゴンからミンガラバー

タスクフォース会議

実務レベルにおけるプロジェクト活動推進のためのタスクフォース会議を月 1 回ヤンゴンで行っています。会議の議長であり、プロジェクトマネジャーの Ms. Thin Thin Nwe はネピドー在住ですので、月 1 回のタスクフォース会議はお会いできる貴重な機会です。メンバーは Thin Thin Nwe さんを始め、女性のための職業訓練校の校長、社会福祉訓練校の副校長と講師 2 名、ミャンマー警察の人身取引タスクフォースのメンバー、プロジェクト専門家 2 名とアシスタントの 9 名です。

第 2 回目の会合では、プロジェクト 1 年目の主な活動となる講師養成研修 (TOT) のプログラムや教材の内容、開催時期、参加者等について話し合いを持ちました。さらに詳細を詰めていくために社会福祉訓練校のメンバーとプロジェクト専門家と別途サブグループをつくり、話し合いを進めていくことになりました。

タスクフォースメンバーと (プロジェクトマネジャー Ms. Thin Thin Nwe 左から 4 番目)



第三国研修 (タイ、チェンマイにて)

タイのチェンマイで実施された第三国研修「メコン地域における人身取引被害者の帰還・送還・社会復帰支援に関する能力強化」に参加しました。ミャンマーからはマンダレーの社会福祉局の副議長と職員 1 名、女性のための職業訓練マンダレー校の副校長、ネピドー社会福祉局から職員 2 名、それに女性課題連盟 (ヤンゴン) から 1 名の計 6 名が参加しました。

第三国研修ミャンマー人参加者と



ミャンマー参加者は、はじめのうちは発言も控えていて静かな感じでしたが、徐々に研修に慣れていった様子で、参加型のワークも大いに楽しみ、質問や意見も出すようになりました。ケースワークについてのプレゼンでは、パワーポイントの資料に被害者と家族の名前や年齢、住所などを載せていて、ミャンマーでは被害者のプライバシーや守秘義務への認識があまりされていないことが伺えました。

最後の「研修から学んだことを帰国後どういふふうにかかすか」のプレゼンでは、他の国が広い内容をカバーしていたのに比べ、ミャンマーグループは人身取引の予防に的を絞って、そのための研

修を企画して発表しました。研修内容についてはあまり具体的でなかったのですが、予算については UNIAP, IOM, UNICEF などから供出してもらう形で組んでいて、これもミャンマー政府の厳しい懐事情を反映しているようで興味深かったです。

2週目の終わりにはバンコクに移動し、タイの漁業・水産加工業が集中するサムットサコン県マハチャイ地区を訪問しました。そこで働く移住労働者のほとんどはミャンマー人ですが、彼らの支援活動をしている現地 NGO に、魚市場や加工工場、学校、ミャンマー人の住むコミュニティなどを案内してもらいました。港や工場付近は匂いがひどく、気分が悪くなる人もいて、選択肢が限られている人たちしかここでは働かないだろうなということを実感させられました。

ミャンマー人コミュニティ向け市場（マハチャイ）



ミャンマー人コミュニティの市場では、ミャンマーの食べ物や生活用品が何でも揃っていて、ミャンマー人の研修参加者もいささか興奮気味。早速屋台の食べ物を物色し、味を見たりお店の人とおしゃべりしたり、夕食用にお持ち帰りもしていました。研修生たちはミャンマー人移住労働者の過酷な労働環境と、それでもしたたかに生活してい

る実態に少し触れることができたようです。

今回の研修参加の目的の一つは、プロジェクトが実施する研修の講師を探すことでしたが、研修内容や講師についても参加者から適宜感想や意見を聞くことができました。講師は官民ともそれぞれの分野で被害者支援に実際に関わっている方が多く、経験に裏付けされた話は参加者にも刺激になったようです。マンダレー校副校長の Ms. Ni Ni Win が、私は英語が苦手でと言いながら「職場に帰ったら、この研修での経験を生かしたい」と決意のこもった静かな口調で話してくれたのが印象に残っています。

社会福祉局の障害児学校の中にお借りしているプロジェクト執務室の改修工事が終わり、9月からこちらのオフィスに引っ越してきましたが、毎日朝の1時間程度しか電気がこず、その後はずっと停電なので発電機の調達および設置場所工事の手続き中です。水道も水が出ない時の方が多く、脆弱なインフラに直面する毎日です。



本通信は、プロジェクトの進捗状況および周辺情報をお知らせするために専門家の見聞をお送りしています。JICA およびプロジェクトのカウンターパートの見解ではありません。禁転載